岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　清水川通常砂防事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	R3-Bor.No.4	調査位置	広島県福山市鞆町後地（右岸側袖部）	北緯	34° 22′ 45.3180″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和3年11月 4日～ 令和3年11月10日	東経	133° 22′ 22.6750″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 44.54m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	9.00m	地盤勾配	36° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM製YSO-1型 / エンジン：ヤンマー(株)製TF120VE型 / ポンプ：YBM製SP-40型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	記事	孔内水位／測定月日
	43.94	0.60		礫混じり砂	暗茶 茶褐								0.35
1				強風化流紋岩	茶褐～暗茶	w5	h4	D	V	c	DL	調査地において比較的新しい時期の崖錐堆積層。山体の被覆土で未固結である。砂は中砂主体。φ2～10mmの亜角礫を全体に含む。maxφ25mm。植物根を含む。	
2	42.54	2.00						C				強風化の流紋岩質凝灰角礫岩。DL級。含有する角礫岩部も風化し，粘土混じりの砂状を呈し，指圧で容易に崩せる。	11/8 2.10
3				風化流紋岩	淡褐灰～暗灰～淡灰	w4	h3						
4								E	VI	d			
5								D	V		DM	DM級の風化した流紋岩質凝灰岩。粘土混じり砂状を呈す。全体的に不均質で局所的に白灰の粘土優勢部を挟む。GL-3.45～3.80m間，粗砂状。	
6										c			
7	37.54	7.00									DH	DH～CL級の流紋岩質凝灰岩。上層より固結度が高く，ハンマー軽打で崩せる。GL-8.30m以深，灰茶褐で粘土化部が少なくハンマーで崩せる。	
8				風化流紋岩	淡褐灰～灰茶褐	w3	h2	C	IV				
9	35.54	9.00									CL		
10													
11													
12													
13													
14													

コア採取率 ―×― (%)　最大コア長 ―●― cm　RQD ―― [%]

標準貫入試験 深度－N値図

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
17	1.15	17		
	1.45	300		
50以上	2.15	50	220	
	2.37	220		
48	3.15	48		
	3.45	300		
50以上	4.15	50	200	
	4.35	200		
44	5.15	44		
	5.45	300		
29	6.15	29		
	6.45	300		
50以上	7.15	50	210	
	7.36	210		
50以上	8.10	50	110	
	8.21	110		
50以上	9.10	50	170	
	9.27	170		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
		11/5	39	66／ケーシング	打込み/打込みシュー	0	0	0	約0	0
					ダブル／ダイヤ	0	70	1	約7	7
			47		ダブル／メタル	0	80	2	約9	9
		11/8				0	70	1	約8	8
			43		打込み/打込みシュー	0	0	0	約0	0
					ダブル／メタル	0	65	2	約8	8
		11/9		66	ダブル／メタル	0	85	2	約7	7